

2023年12月30日



報道関係者各位

こども防災協会

身近なものでレスキューリングづくり

【さわのぼうけん】を開催しました！

2023年7月8日(土)～9日(日)【江田島青少年交流の家】

「こども防災協会」は小学生と留学生ボランティアの方々と一緒に、7月8日～7月9日に"いざという時、生きのびる(72時間)こどもを増やすこと"・"さまざまな国の文化や習慣に触れ、共生の感覚を持つこどもを育てること"を目的として、「さわのぼうけん」を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



イベント概要

開催概要: ネイチャーぼうけん&防災キャンプ【さわのぼうけん】

日程: 2023年7月8日(土)~9日(日)

開催場所: 江田島青少年交流の家

参加人数: 合計57名

参加者内訳: こども38名(小学生、内 被災経験 3名) / ボランティア14名 / スタッフ3名 / バス運転手2名

ボランティア出身国: 全10カ国(バングラディッシュ、ブラジル、インドネシア、韓国、ラオス、マレーシア、ネパール、フィリピン、アメリカ、ベトナム)

ペットボトルでレスキューリングを作ろう

それぞれ自宅からペットボトルを持参し、溺れた人を助けるためのレスキューリングを作ります。まずは、投げる時のコツや、溺れる人を助ける時に自分が気を付けるべきこと、などを全員で学びます。

結び方が結構複雑なため、子どもたちはボランティアの助けを借りながら、オリジナルのレスキューリングを作っていきます。お互いに進捗を見せあい、助け合って和気あいあいと完成させていました。その後広場に移動し、実際に投げる練習を行いました。プールに浮かべてみて「本当に浮いた!」と喜ぶ姿が印象的でした。



世界の海について学ぶ チェイスゲーム

クイズを持ちながら逃げるボランティアを捕まえて、正解するとポイントゲット！クイズはどれも世界の海に関するものばかり。子どもたちはそれぞれ3～4人くらいのチームに分かれ、体育館を元気に走り回ります。「エジプトのスエズ運河の長さは？」「ブラジルのアマゾン川にいる、とある生き物の一番小さな種類は？」など、少し難しいものもありましたが、ボランティアのヒントをもとに一生懸命考えて回答していました。正解を知ると「へえ～！知らなかった！」と学びを楽しんでいる様子が、それぞれのチームで見られました。



参加した子ども・保護者からの声

「レスキューリングは少し難しかったけど、これが浮き輪になったら本当にすごいと思いました」

<団体概要>

団体名称 : こども防災協会

URL : <http://kodomo-bousai.net/>

活動内容 : 防災に役立つ判断力と行動力を学べる「こども防災キャンプ」を実施しています。キャンプには、留学生ボランティアも多数参加。さまざまな国の文化や習慣に触れながら、災害に関わる英語も一緒に学ぶことができます。



日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

＜お問い合わせ先＞

団体名:こども防災協会

担当者名:鹿島 美織

電話:090-6684-9696

メールアドレス:volunteer@kodomo-bousai.net